令和 2 年
第 1 回 蕨戸田衛生センター組合議会会議録

目 次

月 日 曜日	議 事	頁
	○会期日程	
	○招集告示	1
	○応招、不応招集	2
2月21日(金)	○議事日程	3
	○出席、欠席議員	4
	○職務のため出席した者	4
	○説明のため出席した者	4
	○開会と開議の宣告	5
	○仮議席の指定	5
	○議長選挙	5
	○議席の指定	6
	○議会運営委員会委員の選任について	6
	○議会運営委員会副委員長の互選結果の報告	6
	○議会運営委員会委員長報告	6
	○会議録署名議員の指名	7
	○会期の決定	7
	○常任委員会委員の選任について	7
	○各常任委員会正副委員長互選結果の報告	8
	○管理者報告	8
	○管理者提出議案の一括上程	10
	◇議案第1号 蕨戸田衛生センター組合監査委員の選任 の同意について	
	◇議案第2号 蕨戸田衛生センター組合議会議員の議員 報酬及び費用弁償等に関する条例の一部 を改正する条例	

◇議案第 3 号	蕨戸田衛生センター組合管理者及び副管理者の報酬等支給条例の一部を改正する条例	
◇議案第 4 号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	
◇議案第 5 号	令和元年度蕨戸田衛生センター組合会計補正予算（第 2 号）	
◇議案第 6 号	令和 2 年度蕨戸田衛生センター組合会計予算	
○議案第 1 号の説明、質疑、委員会付託、討論、採決		1 0
○議案第 2 号から第 6 号の説明		1 1
○議案第 2 号から第 6 号に対する質疑		2 0
○議案第 2 号から第 6 号の委員会付託		2 0
○散会の宣告		2 0
2 月 2 2 日（土）	○休 会	
2 月 2 3 日（日）	○休 会	
2 月 2 4 日（月）	○休 会	
2 月 2 5 日（火）	○休 会	
2 月 2 6 日（水）	○議事日程	2 1
	○出席、欠席議員	2 2
	○職務のため出席した者	2 2
	○説明のため出席した者	2 2
	○開議の宣告	2 3
	○議事日程の報告	2 3
	○一般質問	2 3
	○付託事件に対する委員長報告	2 3
	◇総務常任委員会委員長 遠藤英樹 議員	
	◇業務常任委員会委員長 保谷武 議員	
	○委員長報告に対する質疑	2 8
	○討論、採決	2 8

○閉会中の継続審査事項の委員会付託……………	29
○閉会の宣告……………	29

令和2年第1回蕨戸田衛生センター組合議会定例会

会 期 日 程

自 令和2年2月21日

6日間

至 令和2年2月26日

日程	月 日	曜日	開議時刻	会 議 名	議 事 内 容
1	2月21日	金	午前10時	本 会 議	<ul style="list-style-type: none"> ○開 会 ○開 議 ○仮議席の指定 ○議長選挙 ○議席の指定 ○議会運営委員会委員の選任について ○継続審査に対する委員長報告 ○会議録署名議員の指名 ○会期の決定 ○常任委員会委員の選任について ○管理者報告 ○管理者提出議案の一括上程 ○説明、質疑、委員会付託、討論、採決 ○管理者提出議案の説明 ○管理者提出議案に対する質疑 ○管理者提出議案の委員会付託
				本会議散会后	委 員 会
2	2月22日	土		休 会	
3	2月23日	日		休 会	
4	2月24日	月		休 会	

5	2月25日	火		休 会	
6	2月26日	水	午前10時	本 会 議	<ul style="list-style-type: none"> ○開 議 ○一般質問 ○付託事件に対する委員長報告 ○委員長報告に対する質疑 ○討論、採決 ○閉会中の継続審査事項の委員会 付託 ○閉 会

蕨戸田組告示第1号

令和2年2月14日

令和2年2月21日、令和2年第1回蕨戸田衛生センター組合議会（定例会）を蕨戸田衛生センター組合議場に招集する。

蕨戸田衛生センター組合

管理者 頼 高 英 雄

応招、不応招議員

◇応招議員 20名

1番	武下涼	議員	2番	今井陽子	議員
3番	大石圭子	議員	4番	本田てい子	議員
5番	榎本和孝	議員	6番	小林利規	議員
7番	保谷武	議員	8番	根本浩	議員
9番	山・紀子	議員	10番	一関和一	議員
11番	佐藤太信	議員	12番	竹内正明	議員
13番	石川清明	議員	14番	遠藤英樹	議員
15番	馬場栄一郎	議員	16番	斎藤直子	議員
17番	花井伸子	議員	18番	酒井郁郎	議員
19番	榎本守明	議員	20番	山崎雅俊	議員

◇不応招議員 なし

令和 2 年 第 1 回

蕨戸田衛生センター組合議会（定例会）

2 月 2 1 日（金）

令和2年第1回蕨戸田衛生センター組合議会定例会 第1日

令和2年2月21日（金）

議事日程

1. 開 会
2. 開 議
3. 仮議席の指定
4. 議長選挙
5. 議席の指定
6. 議会運営委員会委員の選任について
7. 継続審査に対する委員長報告
 - (1) 議会運営委員会委員長
8. 会議録署名議員の指名
9. 会期の決定
10. 常任委員会委員の選任について
11. 管理者報告
12. 管理者提出議案の一括上程
 - (1) 議案第1号 蕨戸田衛生センター組合監査委員の選任の同意について
 - (2) 議案第2号 蕨戸田衛生センター組合議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
 - (3) 議案第3号 蕨戸田衛生センター組合管理者及び副管理者の報酬等支給条例の一部を改正する条例
 - (4) 議案第4号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
 - (5) 議案第5号 令和元年度蕨戸田衛生センター組合会計補正予算（第2号）
 - (6) 議案第6号 令和2年度蕨戸田衛生センター組合会計予算
13. 管理者提出議案第1号の説明、質疑、委員会付託、討論、採決
14. 管理者提出議案第2号から議案第6号の説明
15. 管理者提出議案第2号から議案第6号に対する質疑
16. 管理者提出議案第2号から議案第6号の委員会付託
17. 散 会

令和2年2月21日(金)

◇出席議員 (20名)

1番	武下涼	議員	2番	今井陽子	議員
3番	大石圭子	議員	4番	本田てい子	議員
5番	榎本和孝	議員	6番	小林利規	議員
7番	保谷武	議員	8番	根本浩	議員
9番	山・紀子	議員	10番	一関和一	議員
11番	佐藤太信	議員	12番	竹内正明	議員
13番	石川清明	議員	14番	遠藤英樹	議員
15番	馬場栄一郎	議員	16番	斎藤直子	議員
17番	花井伸子	議員	18番	酒井郁郎	議員
19番	榎本守明	議員	20番	山崎雅俊	議員

◇欠席議員 (なし)

◇職務のため出席した者

石塚千明 書記 高津戸健喜 書記

◇説明のため出席した者

頼高英雄	管理者	伊藤浩一	囑託
菅原文仁	副管理者	奥田好是	囑託
須崎充代	会計管理者	榎戸晃	囑託
増山富美男	事務局長	田谷信行	囑託
渡邊昌彦	次長	相馬一富	囑託
木村和正	次長	小柴正樹	囑託
斎川弘之	業務課長	吉野博司	囑託
河野淳夫	施設課長	栗原誠	囑託
		清水明	囑託
		東口俊博	囑託

令和2年第1回蕨戸田衛生センター組合議会
定例会会議録第1号

令和2年2月21日（金曜日）
午前10時00分開会

◎開会と開議の宣告

○小林利規副議長 ただいまより、令和2年
第1回蕨戸田衛生センター組合議会定例会
を開会いたします。

戸田市議会選出議員の改選に伴い、現在、
議長が欠員となっておりますので、副議長
の私が代行いたします。

直ちに、本日の会議を開きます。

◎仮議席の指定

○小林利規副議長 これより、仮議席を指定
いたします。

仮議席は、ただいま着席の議席を指定い
たします。

◎議長選挙

○小林利規副議長 次に、蕨戸田衛生センタ
ー組合議会議長選挙を議題といたします。
現在、議長が改選に伴い欠員となってお
ります。

お諮りいたします。

選挙の方法については、地方自治法第
118条第2項の規定により、指名推選に
いたしたいと思っておりますが、これにご異議あ
りませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○小林利規副議長 ご異議なしと認め、選挙
の方法については指名推選といたします。

お諮りいたします。

副議長において指名いたしたいと思いま
すが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○小林利規副議長 ご異議なしと認め、副議
長において指名いたします。

蕨戸田衛生センター組合議会議長に石川
清明議員を指名いたします。

お諮りいたします。

ただいま指名いたしました石川清明議員
を蕨戸田衛生センター組合議会議長選挙の
当選人と定めることにご異議ございません
か。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○小林利規副議長 ご異議なしと認め、石川
清明議員が蕨戸田衛生センター組合議会議
長に当選されました。

ただいま議長に当選されました石川清明
議員が議場におられますので、会議規則第
32条第2項の規定により、本席より告知
いたします。

新たに議長になられました石川清明議員
にご挨拶をお願いいたします。

〔13番 石川清明議員 登壇〕

○13番 石川清明議員 皆さん、おはよう
ございます。

ただいま議長にご承認いただきまして、
まことにありがとうございます。

「明るく健康的で住みやすいまちにする
ために」の理念のもとに、微力ではござい
ますが、議員各位の皆様、頼高管理者を始
め執行部の皆様のお力添えをいただき、し
っかりとした審議と円滑なる議会運営に努
めてまいります。どうぞよろしくお願いを
いたします。

甚だ簡単ではございますが、議長就任の
挨拶とさせていただきます。ありがとうご
ざいました。

○小林利規副議長 以上で、新議長のご挨拶
を終わります。

◎休憩の宣告

○小林利規副議長 ここで、暫時休憩いたします。

午前10時04分休憩

午前10時05分再開

◎再開の宣告

○石川清明議長 休憩前に引き続き、会議を開きます。

◎議席の指定

○石川清明議長 これより議席の指定を行います。

戸田市議会選出議員の改選に伴い、新たに組合議員となられました議員の議席については、会議規則第4条第1項の規定により、議長において指名いたします。

11番 佐藤太信 議員

12番 竹内正明 議員

13番 石川清明

14番 遠藤英樹 議員

15番 馬場栄一郎 議員

16番 斎藤直子 議員

17番 花井伸子 議員

18番 酒井郁郎 議員

19番 榎本守明 議員

20番 山崎雅俊 議員

以上のとおり議席を指定いたします。

◎議会運営委員会委員の選任について

○石川清明議長 次に、議会運営委員会委員の選任についてを議題といたします。

戸田市議会選出議員の改選に伴い、議会運営委員会委員3名が欠員となっております。

お諮りいたします。

議会運営委員会委員の選任については、

委員会条例第8条第1項の規定により、

11番 佐藤太信 議員

14番 遠藤英樹 議員

16番 斎藤直子 議員

以上のとおり指名いたしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○石川清明議長 ご異議なしと認め、ただいま指名いたしました以上の議員を選任いたします。

◎休憩の宣告

○石川清明議長 ここで、暫時休憩いたします。

午前10時07分休憩

午前10時11分再開

◎再開の宣告

○石川清明議長 休憩前に引き続き、会議を開きます。

◎議会運営委員会副委員長の互選結果の報告

○石川清明議長 ここで、議会運営委員会の副委員長互選の結果についてご報告申し上げます。

議会運営委員会副委員長に、

14番 遠藤英樹 議員

が互選されましたので、ご報告申し上げます。

◎議会運営委員会委員長報告

○石川清明議長 次に、議会運営委員会委員長の報告を求めます。

議会運営委員会委員長 7番 保谷 武 議員。

〔7番 保谷 武議員 登壇〕

○7番 保谷 武議員 令和2年第1回蕨戸田衛生センター組合議会定例会に係る議会運営委員会を、ただいま開催をいたしました。その決定事項についてご報告申し上げます。

お手元に会期日程案及び議事日程をお配りしておりますので、ご参照願います。

最初に、会期日程であります。蕨市、戸田市の日程並びに提出議案等を勘案し、本日2月21日から26日までの6日間といたします。

質疑の発言通告は、提案説明後、本会議再開時までといたします。

次に、議事日程であります。審議の結果、お配りいたしましたとおりであります。議案第1号につきましては人事案件ですので、委員会付託を省略し、先議する。

以上のとおり決定いたしました。

以上で、議会運営委員会の報告とさせていただきます。

◎会議録署名議員の指名

○石川清明議長 次に、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第81条の規定により、

4番 本田 てい子 議員

14番 遠藤 英樹 議員

を指名いたします。

◎会期の決定

○石川清明議長 次に、会期決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。

本定例会の会期は、ただいまの議会運営委員会委員長報告のとおり、本日2月21日から2月26日までの6日間としたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○石川清明議長 ご異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は本日から26日までの6日間と決定いたしました。

◎常任委員会委員の選任について

○石川清明議長 次に、常任委員会委員の選任についてを議題といたします。

戸田市議会選出議員の改選に伴い、常任委員会委員が欠員となっております。

お諮りいたします。

常任委員会委員の選任については、委員会条例第8条第1項の規定により、

総務常任委員会委員に、

11番 佐藤 太信 議員

13番 石川 清明

14番 遠藤 英樹 議員

15番 馬場 栄一郎 議員

20番 山崎 雅俊 議員

業務常任委員会委員に、

12番 竹内 正明 議員

16番 斎藤 直子 議員

17番 花井 伸子 議員

18番 酒井 郁郎 議員

19番 榎本 守明 議員

以上のとおり指名したいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○石川清明議長 ご異議なしと認め、ただいま指名いたしました以上の議員を選任いたします。

◎休憩の宣告

○石川清明議長 ここで、暫時休憩いたします。

午前10時15分休憩

午前10時25分再開

◎再開の宣告

○石川清明議長 休憩前に引き続き、会議を開きます。

◎各常任委員会正副委員長互選結果の報告

○石川清明議長 ここで、総務、業務両常任委員会の正副委員長の互選の結果についてご報告いたします。

総務常任委員会委員長に、

14番 遠藤 英樹 議員

業務常任委員会副委員長に、

16番 斎藤 直子 議員

以上のとおり、ご報告申し上げます。

◎管理者報告

○石川清明議長 次に、管理者の報告を求めます。

頼高管理者。

〔頼高英雄管理者 登壇〕

○頼高英雄管理者 おはようございます。

本日ここに、令和2年第1回蕨戸田衛生センター組合議会定例会を招集申し上げましたところ、議員各位におかれましては公私とも大変お忙しい中ご参集をいただき、厚く御礼を申し上げます。

また、先般の戸田市議会において役職改選が行われましたが、その中で新たに本組合議員に選出されました議員の皆様には、改めて今後のご指導とご協力を心からお願い申し上げます。

さて、今定例会でご審議いただく案件は、人事案1件、条例案3件、予算案2件の計6件であります。慎重なるご審議をいただき、ご議決くださいますようお願い申し上げます。

それでは、前定例会後の主なる事項と新

年度における業務等につきましてご報告を申し上げ、ご理解をいただきたく存じます。

まず、施設の延命化対策を行う基幹的設備改良工事の進捗状況について申し上げます。

4カ年の継続事業であるごみ焼却施設は、昨年11月に16日間運転を停止し、電気計装設備などの各施設共通の設備の更新を行い、令和元年度分の工事を完了いたしました。この工事に伴い、停止期間中の家庭からの燃やすごみの処理をさいたま市、川口市、朝霞市及び和光市に処理をお願いいたしました。当初1,673トンの処理を予定しておりましたが、搬出日が2日減少したことなどにより、実際は1,224トンとなりました。

なお、令和2年度につきましては、3炉ある焼却炉のうち2炉の工事を予定しており、1炉当たりの工事期間4カ月を要します。工事期間中は、順次2炉でごみの処理を行いますが、この2炉についても通常の施設設備が必要となることから、1炉運転となる期間、処理しきれない家庭からの燃やすごみについては、さいたま市に3,446トン、川口市に1,362トン、朝霞市と和光市にそれぞれ360トンの合計5,528トンの処理を委託する予定としております。

次に、粗大ごみ処理施設については昨年11月に8日間、今年1月に3日間、運転を停止し、設備本体及び付属設備の更新を行いました。停止期間中の粗大ごみと燃えないごみについては、組合の施設内で保管をいたしました。

なお、粗大ごみ処理施設については、単年度の工事となっており、全ての工事を完了いたしました。

また、2カ年の継続事業のし尿処理施設

については、施設を停止せず、ポンプ類及び電気設備の更新を行い、こちらについても令和元年度分について完了いたしました。

令和2年度については、脱水処理設備、脱臭設備及び計装設備など、主なる設備の更新を行いますが、施設の運転に支障が出ないように、停止している土日及び祝日に工事を行うこととしております。

次に、ISO14001の3年に1回の更新審査について申し上げます。

これは、組合の業務が環境にどのような影響を与えているかを自ら評価し、積極的に環境保全、改善を推進するための取り組みとして認証取得しております、環境マネジメントシステムの外部機関による審査となります。

審査は、専門機関の一般財団法人日本品質保証機構により、去る2月3日からの3日間で行いました。審査の結果は、特に指摘事項はなく、ISO14001への取り組みは環境に十分配慮し、適正に管理されているとのことでありました。

次に、回収されました主なる資源売り払いの本年度4回目となります1月から3月分の入札結果について申し上げます。

各品目の1キログラム当たりの単価は、スチール缶24円44銭2厘、アルミ缶130円46銭、ペットボトル56円76銭、破碎鉄10円98銭9厘、焼却鉄1円22銭1厘となりました。これは、今年度3回目の価格と比較いたしますと、スチール缶、アルミ缶は若干の値上がりとなりましたが、その他のものは13.7%から42.5%の値下がりとなっております。

次に、各処分委託の状況について申し上げます。

まず、ごみ焼却に伴い発生する焼却灰の処理についてであります。ばいじんはセ

メントで固化を行い、埋立処分と一部については資源化を行っております。

また、焼却炉の下から排出される不燃物については、土木資材として全量の資源化を行っております。搬出にあたりましては、関係自治体と締結しております公害防止協定の内容を遵守するとともに、搬出側の責務も十分自覚し、安全性に留意して行っております。

新年度は、令和元年度に引き続き、埋立処分については群馬県草津町及び山形県米沢市の処分場に搬出、また資源化については埼玉県寄居町の彩の国資源循環工場と栃木県日光市の事業者へ搬出する予定としております。

次に、廃乾電池、廃家電などの処理困難物の処分委託について申し上げます。

まず、廃乾電池につきましては、電気炉で鉄くずなどと熔融処理をされ、鉄分やマンガンは工事に使用する資材として製品となり、その他のものについても資源としてリサイクルされております。今年度は2回搬出を行っており、23トン510キログラムを処理いたしました。

次に、廃家電処分委託について申し上げます。

この処分委託は、不法投棄された家電製品を家電リサイクル法に準拠した処分方法で処理を行うものであります。現在までに2回搬出を行っており、テレビ、冷蔵庫など279台を処理いたしました。

次に、廃消火器処分委託について申し上げます。

この処分委託は、両市より収集されました消火器を法律の基準に基づき処理するものであります。2回搬出を行っており、1,398本を処理いたしました。

次に、廃スプリングマットレス処分委託

について申し上げます。

この処分委託は、粗大ごみとして回収されたスプリングマットレスの処分を委託しているものであります。1月末までで1,367枚を処理いたしました。

次に、動物等火葬業務委託について申し上げます。

この業務委託は、搬入されました動物の死体を、これまでは動物専用の焼却炉で処理を行っていましたが、基幹的設備改良工事の施工に伴い、廃止をすることとし、昨年10月から火葬の業務委託を開始したものであります。1月末までで211体を処理いたしました。

なお、焼却灰及び処理困難物の処分については、処分先に出向き、関連する法律の規定に基づき適正に処理されていることを確認しております。

次に、再生家具の展示販売について申し上げます。

この再生家具は、粗大ごみとして回収された家具類をリサイクルプラザ内にあります工房にてシルバー人材センターの会員の方が修理、手入れをしたものを、まず入札形式での販売を行い、売れ残ったものについては先着での販売を行うものであります。

本年度3回目となります展示販売を今週の2月17日から22日までの1週間を入札の受付期間とし、実施しております。今回の展示品の総数は250点となっております。また、入札での売れ残ったものの先着での販売を来月16日から19日まで行う予定としております。

なお、令和2年度についても3回の展示販売を予定しております。

最後に、蛍の飼育状況について申し上げます。

現在、約3,800匹の幼虫が順調に育

っております。予定では、5月にさなぎとなり、1カ月後には羽化を迎えると思われまので、このまま順調に飼育することができましたら、6月に第5回目の観賞会を開催したいと考えております。

以上、管理者報告といたします。

◎管理者提出議案の一括上程

○石川清明議長 これより、管理者提出議案の上程に入ります。

今議会に提出された議案は6件であります。

件名を書記が朗読いたします。

[書記朗読]

議案第1号 蕨戸田衛生センター組合監査委員の選任の同意について

議案第2号 蕨戸田衛生センター組合議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

議案第3号 蕨戸田衛生センター組合管理者及び副管理者の報酬等支給条例の一部を改正する条例

議案第4号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

議案第5号 令和元年度蕨戸田衛生センター組合会計補正予算(第2号)

議案第6号 令和2年度蕨戸田衛生センター組合会計予算

○石川清明議長 以上、朗読のとおりであります。

◎議案第1号の説明、質疑、委員会付託、討論、採決

○石川清明議長 これより議案第1号「蕨戸

田衛生センター組合監査委員の選任の同意について」を議題とし、先議いたします。

本案は、竹内正明議員の一身上に関する事件でありますので、地方自治法第117条の規定により、竹内正明議員の退席を求めます。

〔12番 竹内正明議員 退席〕

○石川清明議長 提出者の説明を求めます。

頼高管理者。

〔頼高英雄管理者 登壇〕

○頼高英雄管理者 ただいま上程になりました議案について、提案理由をご説明申し上げます。

議案第1号は、組合議会議員のうちから選出する監査委員の選任の同意についてであります。

今回、戸田市議会選出議員の改選に伴いまして、議会選出の監査委員が欠員となっておりますので、戸田市議会から推薦をいただきました竹内正明議員を監査委員として選任するため、ご同意を求めるものであります。

よろしくお願ひ申し上げます。

○石川清明議長 お諮りいたします。

本案は、質疑を終結し、委員会付託を省略し、直ちに討論、採決に入りたいと思ひますが、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○石川清明議長 ご異議なしと認め、さよう決定いたしました。

討論を終結し、採決に入りたいと思ひますが、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○石川清明議長 ご異議なしと認め、討論を終結し、採決いたします。

本案は、同意することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○石川清明議長 ご異議なしと認めます。

よって、本案は同意することに決定いたしました。

竹内正明議員の出席を求めます。

〔12番 竹内正明議員 出席〕

○石川清明議長 この際、同意を得ました竹内正明議員にご挨拶をお願いいたします。

〔12番 竹内正明議員 登壇〕

○12番 竹内正明議員 戸田の竹内正明でございます。

ただいまは、監査委員の選任をいただきまして、ありがとうございます。大変重要な役割と思っております。1年間、しっかり務めてまいりたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひをいたします。

◎議案第2号から第6号の説明

○石川清明議長 次に、議案第2号「蕨戸田衛生センター組合議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」から議案第6号「令和2年度蕨戸田衛生センター組合会計予算」までを一括議題といたします。

提出者の説明を求めます。

頼高管理者。

〔頼高英雄管理者 登壇〕

○頼高英雄管理者 ただいまは、監査委員の選任にご同意をいただきまして、まことにありがとうございます。

それでは、引き続きまして議案第2号から議案第6号までの提案理由を申し上げます。

まず、議案第2号「蕨戸田衛生センター組合議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」について申し上げます。

この条例は、議員の期末手当について令和元年12月支給分の支給割合を2.2月

から2.25月に改め、令和2年度以降については6月、12月支給分をともに2.25月に改め、年間の支給割合を4.45月とするものであります。

なお、令和元年度の支給分に係る改正は、公布の日から施行し、令和元年4月1日から適用、令和2年度以降の支給分に係る改正は、令和2年4月1日から施行するものであります。

次に、議案第3号「蕨戸田衛生センター組管理者及び副管理者の報酬等支給条例の一部を改正する条例」について申し上げます。

この条例は、正副管理者の期末手当について令和元年12月支給分の支給割合を2.05月から2.1月に改め、令和2年度以降については6月、12月支給分をともに2.0月に改め、年間の支給割合を4.0月とするものであります。

なお、施行日等については、議案第2号と同様であります。

次に、議案第4号「職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」について申し上げます。

この条例は、令和元年の人事院勧告を受けての国家公務員の給与改定に準じ、蕨市及び戸田市において職員の給与条例が改正されましたので、当組合においてもこれに準拠し、所要の改正を行うものであります。

なお、給与条例の改正は給料は蕨市に、手当は戸田市に準拠することとしておりますので、改正の内容はこれに基づいたものとなっております。

主な改正内容は、まず職員の給与について、若年層の職員の給料月額を実質平均0.06%、金額では100円から1,800円引き上げるとともに、一般職員の勤勉手当について令和元年12月支給分の支給割

合を0.925月から0.975月に改め、令和2年度以降については6月、12月支給分をともに0.95月に改め、期末手当と勤勉手当を合わせた年間の支給割合を4.5月とするものであります。

また、令和2年度以降の住居手当について、借家等の場合の支給対象となる下限額を、これまでの3,000円から1万6,000円に引き上げ、支給の上限額を2万7,200円から2万8,000円に引き上げる改正を行うものであります。

なお、給料月額及び令和元年度支給分の勤勉手当に係る改正は公布の日から施行し、令和元年4月1日から適用、令和2年度以降の支給分に係る勤勉手当及び住居手当の改正は令和2年4月1日から施行するものであります。

次に、議案第5号「令和元年度蕨戸田衛生センター組合会計補正予算（第2号）」について申し上げます。

今回の補正予算では、歳入歳出それぞれに3,833万6,000円を追加し、補正後の予算額を29億8,944万2,000円とするものであります。

まず、歳入については第1款分担金及び負担金は7,220万1,000円の減額であります。これは、第2款使用料及び手数料、第5款繰越金、第6款諸収入が増額となったことにより相殺され、減額となったものであります。

一方、歳出につきましては、予算執行に伴います過不足の調整をするものであります。

次に、議案第6号「令和2年度蕨戸田衛生センター組合会計予算」について申し上げます。

令和2年度の予算編成に当たりましては、蕨、戸田両市の厳しい財政状況を認識いた

しまして、組合において予算編成方針を作成し、前年度に引き続き今年度も極力歳出を節減するよう経常的経費など予算全体の見直しに努め、計上しております。

令和2年度予算を前年度予算と比較いたしますと、まず歳入であります。第1款分担金及び負担金の組合分担金については、2,694万3,000円の減額となります。

なお、施設整備基金分担金については、4,000万円としております。

次の第2款使用料及び手数料については、事業系ごみを搬入実績により1,223.9トンの増と見込み、また処分手数料を10キログラム当たり183円60銭から220円に改定したことにより9,369万6,000円の増額であります。

第3款国庫支出金は基幹的設備改良工事に対する国からの交付金で、対象額の2分の1の金額を予算計上しております。

第4款財産収入は、施設整備基金の運用収入であります。

第6款諸収入は1,983万6,000円の減額であります。これは、第1目回収資源売払金においてスチール缶や破碎鉄などの金属類の価格が値下がり傾向であることによりです。

一方、歳出であります。まず第1款議会費は4万9,000円の増額、第2款総務費は1,772万2,000円の減額、第3款衛生費につきましては施設の延命化のための基幹的設備改良工事を行う長寿命化対策費が増額となり、衛生費全体で1億2,939万8,000円の増額であります。

第4款公債費は、1件の償還が完了したことにより2,903万1,000円の減額、第5款諸支出金につきましては、施設

整備基金の積み立てとして運用の利息分と両市からの組合分担金の4,000万円を計上しております。

歳入歳出予算の総額は40億644万7,000円となり、前年度と比較いたしますと10億8,274万1,000円、率にして37%の増額となります。

以上、議案第5号と第6号につきましては概要をご説明申し上げましたが、事務局より詳細説明をいたしますので、よろしくお聞き取りをお願い申し上げます。提案説明を終わらせていただきます。

○石川清明議長 続いて、詳細説明を求めます。

増山事務局長。

[増山富美男事務局長 登壇]

○増山富美男事務局長 おはようございます。

私からは、まず議案第5号「令和元年度蔵戸田衛生センター組合会計補正予算（第2号）」について詳細説明を申し上げます。お手元の補正予算書の1ページをお開きください。

まず、第1条の歳入歳出予算の補正については、歳入歳出それぞれに3,833万6,000円を追加し、総額を29億8,944万2,000円とするものです。

次に、第2条、継続費と第3条、地方債の補正については4ページをお開きください。

継続費補正については、基幹的設備改良事業の4年計画のごみ焼却施設と2年計画のし尿処理施設について、契約額に基づいて変更するものです。

また、地方債補正についても粗大ごみ処理施設とし尿処理施設の今年度分について、限度額を契約額に基づき変更するものです。

次に、歳入歳出予算を事項別明細書により説明申し上げますので、7ページをお開

きください。

初めに、歳入の第1款分担金及び負担金、1項分担金、1目組合分担金は、両市からの組合分担金で7,220万1,000円を減額し、基金分を含めた総額は13億8,100万円とするものです。

蕨市は2,643万4,000円の減額で、分担金の額は5億9,963万円、分担率は43.4%、戸田市は4,576万7,000円の減額で分担金の額は7億8,137万円、分担率は56.6%です。

なお、基金分については当初の4,000万円から1億円に増額しております。

次に、第2款使用料及び手数料は事業系ごみ及び浄化槽汚泥の処分手数料で4,709万4,000円を増額しております。これは、事業系ごみを実績と見込みにより数量で890トンの増としたことと、10月1日より処分手数料を10キログラム当たり183円60銭から220円に改定したことによるものです。

次に、第3款国庫支出金は758万3,000円の減額です。これは、基幹的設備改良事業に対する国からの交付金等が実際の契約金額に対するものになることから減額しております。

8ページ、9ページをお開きください。

第4款財産収入104万3,000円の増額は、施設整備基金の運用分です。大口の定期貯金等で運用したことにより、当初予定の利息より増額となりました。

次に、第5款繰越金は7,057万3,000円を増額し、1億397万3,000円としております。

次に、第6款諸収入、1項雑入、1目回収資源売払金は957万3,000円の減額です。これは、スチール缶や破砕鉄などの金属類の売り払い単価が当初見込みより

値下がりとなったことによります。

次に、2目電力売払収入は116万9,000円の増額です。これは、当初見込みより売り払い電力量が増加したことによります。

次に、3目弁償金2万9,000円の増額は、原子力発電所事故損害賠償金であり、福島原子力発電所事故の影響による焼却灰の放射線量測定の委託費用に対する賠償金です。

次に、4目雑入は2,578万5,000円の増額です。これは、昨年1月24日に発生した粗大ごみ処理施設の爆発事故の復旧工事の費用に対する建物総合損害共済災害共済金2,589万1,000円の支払いがあったことなどによります。

なお、復旧工事に要した費用は平成30年度と今年度分を合わせて3,596万4,000円となります。

次に、第7款組合債は1,800万円の減額です。これは、基幹的設備改良事業に対する借り入れとなり、契約額に基づき減額しております。

以上で歳入の説明を終わります。

引き続きまして、歳出について説明申し上げますので、10ページ、11ページをお開きください。

まず、第1款議会費4万8,000円の増額は、3節職員手当等において期末手当の年間支給割合を4.4月から4.45月に0.05月分引き上げることによるものです。

次に、第2款総務費、1項1目一般管理費は全体で615万4,000円の増額です。

2節給料、3節職員手当等及び4節共済費は実績と見込みによるものです。

13節委託料は契約差金などによる減額

です。

1 4 節使用料及び賃借料は新たな文書管理システムの導入を1年間先送りしたことにより減額となりました。

1 9 節負担金補助及び交付金は、戸田市よりの次長級職員派遣に係る負担金となります。

1 2 ページをお開きください。

次に、第3款衛生費は全体で2, 890万9, 000円の減額です。

1 目清掃総務費は2 2 5 万 1, 0 0 0 円の減額であり、1 3 節委託料の減額は契約差金によるものです。

1 4 節使用料及び賃借料の減額は、下水道使用料の実績と見込みによるものです。

2 目塵芥処理費は2, 062万6, 000円の増額であり、1 1 節需用費の増額については施設運転に必要な工業用薬品の使用量が増加したことによります。

1 3 節委託料の増額は、ごみを焼却した際に焼却炉の下から排出される不燃物を資源化しておりますが、当初見込みより増加しているため、350トン分の処理費を増額するものです。

6 目長寿命化対策費は4, 728万4, 000円の減額です。1 3 節委託料の減額は、ごみ焼却施設の工事期間中、焼却炉を停止し、施工いたしました。この間の家庭からのもやすごみの処理をさいたま市、川口市、朝霞市及び和光市をお願いいたしました。当初1, 673トンと予定しておりましたが、1, 224トンとなったことより減額となりました。

また、1 5 節工事請負費の減額は契約差金によるものです。

次に、第5款諸支出金6, 104万3, 000円の増額は、施設整備基金積立金の分担金の増額分6, 000万円と、貯

金等の利子の増額分です。

以上で、「令和元年度蕨戸田衛生センター組合会計補正予算（第2号）」の詳細説明を終わります。

続きまして、別冊になりますが、議案第6号「令和2年度蕨戸田衛生センター組合会計予算」の詳細説明を申し上げます。

予算書の1ページをお開きください。

まず、第1条の歳入歳出予算について説明いたします。

令和2年度の歳入歳出予算の総額をそれぞれ40億644万7, 000円とするもので、前年度比10億8, 274万1, 000円、率で37%の増額です。

次に、第2条の継続費と第3条の地方債については4ページをお開きください。

施設の延命化を目的とした基幹的設備改良事業のごみ焼却施設とし尿処理施設のものとなり、契約額に基づいた金額となっております。

次に、事項別明細書により予算の内容を説明申し上げますので、7ページをお開きください。

歳入より説明いたします。

まず、第1款分担金及び負担金、1項分担金、1目組合分担金は、組合規約及び施設整備基金条例の規定により積算された金額であり、14億2, 625万8, 000円、前年度比2, 694万3, 000円の減額です。

蕨市は6億1, 198万7, 000円、分担率は42.9%、前年度比1, 407万7, 000円の減額、また戸田市は8億1, 427万1, 000円、分担率は57.1%、前年度比1, 286万6, 000円の減額です。

内訳は、組合運営経費の1節組合分担金は13億8, 625万8, 000円で、蕨

市が5億9,198万7,000円、戸田市が7億9,427万1,000円です。

2節施設整備基金分担金は両市2,000万円ずつの4,000万円です。

次に、第2款使用料及び手数料4億3,678万6,000円は、事業系ごみ及び浄化槽汚泥の処分手数料であり、事業系ごみを前年度比1,223.9トンの増と見込んだこと及び処分手数料を10キログラム当たり183円60銭から220円に改定したことにより9,369万6,000円の増額としております。

次に、第3款国庫支出金10億2,494万7,000円は、基幹的設備改良事業に対する国からの2件の補助金等で、対象額の2分の1が交付される予定です。

ごみ焼却施設分の二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金は9億903万7,000円、し尿処理施設分の循環型社会形成推進交付金が1億1,591万円です。

8ページ、9ページをお開きください。

第4款財産収入62万3,000円は施設整備基金の運用収入です。

次に、第5款繰越金は600万円を計上しております。

次に、第6款諸収入、1項雑入は1億1,723万3,000円を計上しており、前年度比1,983万6,000円の減額となります。

1目回収資源売払金1億58万8,000円は、アルミ缶、スチール缶などの金属類の価格が値下がり傾向のため、前年度比で1,863万3,000円の減額です。

2目電力売払収入785万9,000円は、ごみ焼却により発電した余剰電力の売り払い収入です。

3目弁償金は、福島原子力発電所の事故による放射能の影響により負担した費用に

対する賠償金の受け入れ科目です。

4目雑入877万6,000円は、説明欄のとおり駐車場等として貸している土地使用料等となります。

第7款組合債9億9,460万円は、基幹的設備改良事業に対する起債となり、ごみ焼却施設は8億8,310万円、し尿処理施設が1億1,150万円となります。

以上、歳入の説明となります。

引き続き、歳出について説明申し上げますので、10ページ、11ページをお開きください。

まず、第1款議会費1,551万5,000円は、組合議員20名の報酬を始めとする議会運営に要する経費であり、前年度比4万9,000円の増額です。これは、3節職員手当等の期末手当の支給割合を4.4月から0.05月分引き上げ4.45月としたことなどによります。

次に、第2款総務費は2億5,543万8,000円となり、前年度比1,772万2,000円、率で6.5%の減額です。

1目一般管理費は2億5,483万8,000円で、前年度比1,771万7,000円の減額です。

1節報酬は正副管理者の報酬で、前年度と同額です。

2節給料は、前年度比376万円の減額です。

3節職員手当等は、前年度比2,895万4,000円の減額です。これは、退職手当の予算計上が前年度と比べ2名分から1名分になったことなどによります。

4節共済費は、給料と期末勤勉手当等から算出したものです。

次に、5節災害補償費から12ページの10節需用費までは、前年度とほぼ同額を計上。

1 1 節役務費は、前年度比 5 5 万円の減額です。これは、前年度の手数料においては I S O 1 4 0 0 1 の 3 年に 1 回の更新審査の費用を計上したことなどによります。

次に、1 2 節委託料は 1 3 件で、総務課が所管する組合の管理運営上必要な委託となり、前年度比 4 9 7 万 7, 0 0 0 円の増額です。これは、主に説明欄一番下段の文書管理システム導入業務委託料を予算計上したことによります。

現在、組合で使用している文書管理システムは平成 1 3 年度に導入したもので、メーカーのサポートが終了したことから、新たな文書管理システムを導入することとしております。

1 3 節使用料及び賃借料は 1 0 件となります。

1 7 節の備品購入費は庁用器具などの購入費用です。

1 8 節負担金、補助及び交付金は、各負担金を計上しております。

1 4 ページ、1 5 ページをお開きください。

2 6 節公課費は、公害健康被害補償制度の補償給付費用となる汚染負荷量賦課金です。

2 目公平委員会費と 2 項監査委員費は、それぞれの経常経費です。

以上で、総務費の説明を終わります。

次に、第 3 款衛生費は全体では 3 6 億 3, 5 7 7 万 9, 0 0 0 円で、前年度比 1 1 億 2, 9 3 9 万 8, 0 0 0 円、率で 4 5. 1 % の増額です。

1 目清掃総務費は 1 億 3, 1 6 5 万 3, 0 0 0 円で、前年度比 1, 3 3 5 万 8, 0 0 0 円の減額です。

1 0 節需用費は、各施設共通の消耗品購入費及び施設全体の電気料金、工業用水な

どの経費で、前年度比 5 7 2 万 7, 0 0 0 円の増額です。これは、基幹的設備改良工事を施工するため、1 炉運転や 3 炉運転を行うため、使用電氣量が増加することによるものです。

1 1 節役務費は 5 件の手数料。

1 2 節委託料は各施設共通の委託 5 件で、前年度とほぼ同額です。

説明欄の分析委託料は、環境管理に万全を期すため、関係法令等の規定に基づき、放射線測定を含めた排ガスや焼却灰などの各分析を委託するものです。

その他の委託は、施設の清掃及び法令等に基づき保守点検を行うものです。

1 3 節使用料及び賃借料は、下水道使用料及び業務に使用する車両の借上料などで、前年度比 2 8 万 2, 0 0 0 円の増額です。これは、下水道使用料の消費税等改正によるものです。

1 4 節工事請負費は計量器点検整備の 1 件で、前年度比 2, 0 4 9 万 4, 0 0 0 円の減額です。

1 7 節備品購入費は、各施設で使用する機械器具の購入費です。

1 8 節負担金、補助及び交付金は、主に山形県米沢市の最終処分場へ焼却灰を搬出するにあたり、地元自治体の米沢市に環境保全協力金として 1 トン当たり 1, 3 0 0 円を負担するものです。

次に、2 目塵芥処理費は 9 億 2, 6 2 7 万 2, 0 0 0 円で、前年度比 5 9 8 万 3, 0 0 0 円の減額です。

1 0 節需用費は消耗品費ほか 3 件で、前年度比 1, 4 0 3 万 6, 0 0 0 円の増額です。これは、薬品費の排ガス処理用薬品の使用量増加によるものです。

消耗品費は、主に焼却炉用部品などの購入費。燃料費は、定期補修後の焼却炉立ち

上げ用の灯油と業務に使用する特殊車両の燃料の購入費です。また、修繕料は計画修繕1件と緊急修繕に対応する費用です。薬品費は、施設の運転と公害防止に必要な工業用薬品の購入費用です。

16ページ、17ページをお開きください。

12節委託料は、施設運転管理等業務委託料ほか13件で、前年度比2,230万9,000円の増額です。これは、焼却灰等資源化委託料の処分数量の増及び小型家電処分委託料を新たに予算計上したことなどによります。

それでは、主なものを申し上げます。

施設運転管理等業務委託料は、ごみ焼却施設の運転管理を委託するもので、粗大ごみ処理施設等運転管理業務委託料は粗大ごみ処理施設の運転などを委託するものです。

焼却灰等埋立処分委託料及び焼却灰等資源化委託料は、焼却灰の最終処分のための経費であり、埋立分は3,800トン、資源化分は2,650トンの合計6,450トンです。資源化分は前年度比350トンの増となり、金額で986万3,000円の増額です。

説明欄の廃乾電池運搬処分委託料から廃スプリングマットレス処分委託料までの6件は、それぞれの物の処分を委託するものです。

次の焼却炉室等清掃委託料は、施設の清掃。地下タンク貯蔵所保守点検委託料は、消防法の規定に基づく灯油タンクの保守点検を実施するものです。

次の動物等火葬業務委託料は、基幹的設備改良工事の施工に伴い、動物焼却炉を廃止したことにより、前年度から委託を開始したもので、動物等の火葬業務を委託するものです。

次の小型家電処分委託料は、燃えないごみなどからピックアップした小型家電については、従前は売り払うことができましたが、逆有償となったことから処分を委託するものです。

14節工事請負費は前年度比4,232万8,000円の減額です。

説明欄のごみ焼却施設補修工事ほか7件となり、毎年計画的に実施している定期補修工事で、各設備の機能維持のため、各機器の消耗品の交換及び調整、点検整備等の工事費です。

次に、3目し尿処理費4,428万6,000円は、前年度比19万2,000円の増額です。

10節需用費は、し尿処理施設の維持・管理に必要な消耗品費、修繕料及び薬品費です。

12節委託料は、施設を運転管理するための委託3件となります。

14節工事請負費は、し尿処理施設の機能維持を図るための補修工事費です。

次に、4目リサイクル促進費1億8,554万8,000円は、前年度比253万9,000円の減額です。

10節需用費は、消耗品費、燃料費、修繕料及び薬品費で、前年度比17万3,000円の減額。

12節委託料は、施設の運転管理と資源ごみのリサイクル費用などの委託4件で203万3,000円の増額。

リサイクルプラザ運転管理業務委託料は、容器包装リサイクル法の規定に基づき、選別などの業務を委託するものです。

粗大ごみ再生業務委託料は、粗大ごみとして搬入された家具類の再生業務を委託するものです。

ガラスびん再商品化業務委託料と廃プラ

スチック再商品化業務委託料は、リサイクルに掛かる費用となります。

18ページ、19ページをお開きください。

14節工事請負費は4件で、前年度比439万9,000円の減額です。リサイクルプラザ補修工事は、各設備の機能維持のための補修工事です。

また、空調設備補修工事は設備に不具合が生じており、また使用している冷媒が生産中止となっていることから、設備の交換を行うものです。ほか2件の工事を予定しております。

5目リサイクルフラワーセンター運営費は5,901万円で、前年度比98万9,000円の増額です。

10節需用費は、花の育成に必要な資材などの消耗品、温室の暖房用などの灯油の購入費及び修繕料と薬品費です。

12節委託料は、リサイクルフラワーセンターの運営を委託するもので、前年度比168万円の増額です。これは、障がい者の人件費の基準としている埼玉県最低賃金が898円から926円に改定されたこと、及び消費税等の引き上げによるものです。

運営体制は、社員、高齢者10人、障がい者20人、支援員5人の計35名です。

なお、花苗の年間生産数は11万鉢を予定しております。

14節工事請負費は、花苗を育てる温室の補修工事費用です。

次に、6目長寿命化対策費22億8,901万円は、ごみ焼却施設及びし尿処理施設の基幹的設備改良工事の令和2年度分の費用となります。

工事内容は、まずごみ焼却施設については3炉ある焼却炉のうち、2炉の改良工事

を行い、またし尿処理施設は脱水処理設備、脱臭設備、計装設備及び各ポンプ類などの主なる設備の更新を行います。

12節委託料、一般廃棄物処分委託料は、ごみ焼却施設は、工事期間中、1炉当たり約4カ月間停止することとなり、整備期間中の処理できないごみの一部を近隣市の施設に処理を委託することとしております。

処理を委託する市と委託数量については、さいたま市に3,446トン、川口市に1,362トン、朝霞市に360トン、和光市に360トンの合計5,528トンを予定しております。

14節工事請負費は、ごみ焼却施設及びし尿処理施設の工事費用となります。

なお、ごみ焼却施設は令和4年度までの継続事業となり、し尿処理施設は令和2年度で工事完了となります。

以上で衛生費の説明を終わります。

次に、第4款公債費は平成22年度に施工した施設整備事業の元金と利子及び基幹的設備改良工事の令和元年度借り入れ分の利子となり、総額は5,859万1,000円となります。

なお、1件の償還完了により、前年度比2,903万1,000円の減額となっております。

次に、第5款諸支出金は施設整備基金の積み立てであり、組合分担金からの4,000万円と基金運用分の62万4,000円を積み立てるものです。

第6款予備費については、前年度と同額です。

以上で、「令和2年度蕨戸田衛生センター組合会計予算」の詳細説明を終わります。

○石川清明議長 以上をもって提案理由の説明を終わります。

◎休憩の宣告

○石川清明議長 質疑通告受付のため、暫時休憩いたします。

午前 11 時 17 分休憩

午前 11 時 17 分再開

◎再開の宣告

○石川清明議長 休憩前に引き続き、会議を開きます。

◎議案第 2 号から第 6 号に対する質疑

○石川清明議長 これより管理者提出議案に対する質疑に入ります。

ただいまのところ質疑の通告はありません。

よって、質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終結いたします。

◎議案第 2 号から第 6 号の委員会付託

○石川清明議長 これより委員会付託に入ります。

議案第 2 号から議案第 6 号については、お手元に配付してあります委員会付託一覧表のとおり、総務、業務、両常任委員会に付託いたします。

◎散会の宣告

○石川清明議長 以上をもって、本日の日程は全部終了いたしました。

次回の本会議は、2 月 26 日の午前 10 時となります。よろしくご参集をお願いいたします。

本日はこれをもって散会いたします。

午前 11 時 19 分散会

第 1 日	2 月 2 1 日 (金)	○委 員 会
第 2 日	2 月 2 2 日 (土)	○休 会
第 3 日	2 月 2 3 日 (日)	○休 会
第 4 日	2 月 2 4 日 (月)	○休 会
第 5 日	2 月 2 5 日 (火)	○休 会

令和 2 年 第 1 回

蕨戸田衛生センター組合議会（定例会）

2 月 2 6 日（水）

令和2年第1回蕨戸田衛生センター組合議会定例会 第6日

令和2年2月26日（水）

議事日程

1. 開 議
2. 一般質問
3. 付託事件に対する委員長報告
4. 委員長報告に対する質疑
 - (1) 議案第2号 蕨戸田衛生センター組合議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
 - (2) 議案第3号 蕨戸田衛生センター組合管理者及び副管理者の報酬等支給条例の一部を改正する条例
 - (3) 議案第4号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
 - (4) 議案第5号 令和元年度蕨戸田衛生センター組合会計補正予算（第2号）
 - (5) 議案第6号 令和2年度蕨戸田衛生センター組合会計予算
5. 討 論
6. 採 決
7. 閉会中の継続審査事項の委員会付託
8. 閉 会

令和2年2月26日(水)

◇出席議員 (20名)

1番	武下涼	議員	2番	今井陽子	議員
3番	大石圭子	議員	4番	本田てい子	議員
5番	榎本和孝	議員	6番	小林利規	議員
7番	保谷武	議員	8番	根本浩	議員
9番	山・紀子	議員	10番	一関和一	議員
11番	佐藤太信	議員	12番	竹内正明	議員
13番	石川清明	議員	14番	遠藤英樹	議員
15番	馬場栄一郎	議員	16番	斎藤直子	議員
17番	花井伸子	議員	18番	酒井郁郎	議員
19番	榎本守明	議員	20番	山崎雅俊	議員

◇欠席議員 (なし)

◇職務のため出席した者

石塚千明	書記	高津戸健喜	書記
------	----	-------	----

◇説明のため出席した者

頼高英雄	管理者	伊藤浩一	囑託
菅原文仁	副管理者	奥田好是	囑託
須崎充代	会計管理者	榎戸晃	囑託
増山富美男	事務局長	田谷信行	囑託
渡邊昌彦	次長	相馬一富	囑託
木村和正	次長	吉野博司	囑託
斎川弘之	業務課長	栗原誠	囑託
河野淳夫	施設課長	清水明	囑託
		東口俊博	囑託

令和2年第1回蕨戸田衛生センター組合議会
定例会会議録第2号

令和2年2月26日（水曜日）

午前 9時59分開議

◎開議の宣告

○石川清明議長 これより、本日の会議を開きます。

◎議事日程の報告

○石川清明議長 本日の議事日程につきましては、お手元にお配りしたとおりでありますので、ご了承願います。

◎一般質問

○石川清明議長 これより一般質問に入ります。

一般質問の通告がありませんので、一般質問を終結いたします。

◎付託事件に対する委員長報告

○石川清明議長 続いて、管理者提出議案を一括議題といたします。

各常任委員長から審査の経過並びに結果について報告を求めます。

総務常任委員会委員長 14番 遠藤英樹議員。

〔14番 遠藤英樹議員 登壇〕

○14番 遠藤英樹議員 おはようございます。

それでは、総務常任委員会が付託を受けました案件につきまして、委員長報告をさせていただきます。

当委員会に付託されました案件は、条例案3件、予算案2件の計5件でございます。

審査に当たりましては、説明を省略し、直ちに質疑に入りました。

最初に、議案第2号「蕨戸田衛生センター組合議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」について申し上げます。

委員より、期末手当を引き上げる理由とその影響額、また自治体が独自にごみ処理を行っている場合、議員報酬は自治体の報酬のみとなるものと考えられるが、組合が支給していることについて質疑があり、事務局より、組合の議員報酬と期末手当については、戸田競艇企業団と合わせてきているという経緯があり、同企業団においては4.45月分となっているため、これに合わせるため0.05月分の引き上げを行うものである。また、影響額については年額で議長が2,652円、副議長が2,538円、委員長が2,424円、議員が2,364円となり、全体としては4万7,862円となる。また、自治体が独自にごみ処理を行っている場合については、それぞれの自治体において議員報酬を支払っていると考えられるが、組合では一部事務組合として別に議員報酬と期末手当を設けているとの説明がありました。

以上で質疑を終結し、討論に入り、一委員より、長寿命化対策等、多額の費用を要する時期に期末手当を引き上げている場合ではないと考えるので、本案については反対するとの討論がありました。

以上で討論を終結し、挙手による採決の結果、賛成多数により、本案は原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、議案第3号「蕨戸田衛生センター組合管理者及び副管理者の報酬等支給条例の一部を改正する条例」については、質疑、討論はなく、採決の結果、全員異議なく、本案は原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、議案第4号「職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」について申し上げます。

委員より、若年層の給与について引き上げが行われるとのことだが、対象となる職員数と平均の引き上げ額及び全体の影響額について質疑があり、事務局より、30代半ばまでの職員11名が対象となり、1人当たり0.04から1.1%、月当たりの額にして地域手当のはね返し分を含めると110円から1,980円、平均410円の引き上げとなる。年間の影響額は5万628円となるとの説明がありました。

また、委員より、勤勉手当の0.05月分の引き上げの影響額と住居手当の改正による影響を受ける職員数と額について質疑があり、事務局より、勤勉手当については1人当たり年額で1万934円から3万559円となり、全体の影響額は39万7,445円となる。また、住居手当については6名が対象となり、5名が引き上げ、1名が引き下げとなる。全体の影響額としては月当たり8,200円、年間で9万8,400円の減少を見込んでいたとの説明がありました。

さらに、委員より、住居手当が引き下げられる職員については、令和2年度から無支給になるのか、あるいは経過措置があるのかとの質疑があり、事務局より、経過措置として令和2年度支給分については現在支給している手当の額から2,000円を減じた額を支給するが、令和3年度からは無支給となるとの説明がありました。

以上で質疑を終結し、討論、採決に入り、討論はなく、採決の結果、全員異議なく、本案は原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、議案第5号「令和元年度蕨戸田衛

生センター組合会計補正予算（第2号）」中、当委員会所管事項について申し上げます。

まず、第1条の歳入歳出予算の補正の審議に入りました。

質疑は款ごとに行い、まず歳入の部について質疑に入り、第2款使用料及び手数料について、委員より、補正理由として事業系ごみが890トン増加したとあったが、増加の原因としては新たな排出事業者が増えたためであるのか、また事業系ごみが増加している状況を踏まえ、紙ごみとプラスチックごみについて指導などの対策を行っているのかとの質疑があり、事務局より、事業系ごみの量の推移については、平成17年度をピークに減少傾向が続いていたが、ここ数年は増加傾向となっている。これは、各事業者から排出されるごみの量が増加しているものと考えている。対策としては、紙ごみについてはリサイクルが可能であるので、事業者に対して処分するよりも資源化したほうが低コストであるとアドバイスしている。分別する負担もあるが、事業者の努力が必要であると考えている。プラスチックごみについては、組合の事業系ごみに係る受け入れ基準の規定により、受け入れていないとの説明がありました。

次に、第5款諸収入について、委員より、電力売払収入について、見込みよりも増加した理由、また原子力発電所事故損害賠償金について、組合が負担した額の全額を受け取ることができるのかとの質疑があり、事務局より、電力売払収入については当初予算への計上にあたり、ある程度の施設の不調を見込んで算定しているが、施設の稼働が順調であったため、結果的に増加する見込みとなった。また、原子力発電所事故賠償金については、今回受け取っ

た額は平成30年度の実績に基づく3万9,040円であり、焼却灰の放射線量の測定に要した費用についての額となっている。組合からの請求としては、焼却灰の埋立処分に係る費用について、事故前と事故後の差額の請求を行ったが、線量が100ベクレルを超えていないため、賠償の対象外となった。そのほかにも排ガス等の放射線量の測定を行っているが、この費用も対象外となったとの説明がありました。

また、委員より、実際の請求額と収入の見通しについて質疑があり、事務局より、平成30年度実績分については焼却灰の埋立処分に要した経費として1,435万9,591円、排ガス等の放射線量の測定費用として12万1,995円を請求しているが、受け取ることができる見込みは厳しいとの説明がありました。

以上で歳入の部の質疑を打ち切り、歳出の部、第2条の継続費及び第3条の地方債については質疑はなく、討論、採決に入り、討論はなく、採決の結果、議案第5号中、当委員会所管事項について全員異議なく、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、議案第6号「令和2年度蕨戸田衛生センター組合会計予算」中、当委員会所管事項について申し上げます。

まず、第1条の歳入歳出予算の審議に入りました。

質疑は款ごとに行い、歳入の部については質疑はなく、歳出の部について質疑に入り、第4款公債費について委員より、基幹的設備改良工事に伴う地方債の借り入れ期間について質疑があり、事務局より、令和4年度の借り入れを最後に10年間の償還期間となっている。償還額は令和6年度から10年度にピークを迎え、各年度におい

て約2億4,600万円を見込んでいるとの説明がありました。

また、委員より、借り入れの利率は5%以内で行うとなっているが、実際の見込みについて質疑があり、事務局より、借り入れの利率については総額の約6割を財政融資資金により行い、最新の利率は0.003%、残りの約4割は銀行からの借り入れとなり、0.3から0.4%を見込んでいる。なお、借り入れについては3月を予定しているとの説明がありました。

以上で歳出の部の質疑を打ち切り、第2条の継続費と第3条の地方債については質疑はなく、討論、採決に入り、討論はなく、採決の結果、議案第6号中、当委員会所管事項について全員異議なく、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上をもちまして、総務常任委員会に付託を受けました案件についてのご報告を終了させていただきます。

○石川清明議長 続きまして、業務常任委員会委員長 7番 保谷 武議員。

〔7番 保谷 武議員 登壇〕

○7番 保谷 武議員 おはようございます。

ただいまから業務常任委員会委員長報告を行います。

去る2月21日の本会議において、当委員会に付託されました案件について、その審査の経過概要と結果について、ご報告申し上げます。

当委員会に付託されました案件は、予算案2件であります。

審査に当たりましては、説明を省略し、直ちに質疑に入りました。

最初に、議案第5号「令和元年度蕨戸田衛生センター組合会計補正予算（第2号）」中、当委員会所管事項について申し上げます。

質疑は目ごとに行い、第2目塵芥処理費について、委員より、薬品費の補正の理由について詳細説明を求める質疑があり、事務局より、薬品費の補正額の増額分に該当する薬品は、排ガス処理用薬品の苛性ソーダと反応助剤活性炭の2薬品である。苛性ソーダについては、当初予定数量の9万6,000キログラムから4万8,000キログラムを増量し、14万4,000キログラム、反応助剤活性炭については2万4,000キログラムから2万キログラムを増量し、4万4,000キログラムである。増額の理由としては、苛性ソーダについては基幹的設備改良工事に伴い、焼却炉の3炉運転の日数が平成30年度の実績が10日に対し、令和元年度の見込みが44日となり、34日増加したことが主な要因である。反応助剤活性炭については原因不明の使用量の増加があり、機器の不調などが考えられるため、現在プラントメーカーに調査依頼中である。反応助剤活性炭は、他の薬品に比べ高額なものであるため、早急に原因を突き止め、対処していききたいとの説明がありました。

また、委員より、現在調査中であるとのことだが、調査結果が判明するまでこの使用量は続くのかとの質疑があり、事務局より、原因が不明で対応できない状況であるため、調査結果が判明するまでは現在の使用量が続く。この薬品はダイオキシンを低減するためのものなので、使用を停止することはできないとの説明がありました。

以上で質疑を終結し、討論、採決に入り、討論はなく、採決の結果、全員異議なく、本案は原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、議案第6号「令和2年度蕨戸田衛生センター組合会計予算」中、当委員会所

管事項について申し上げます。

質疑は目ごとに行い、まず第2目塵芥処理費について、委員より、動物等火葬業務委託について、搬入される動物の死骸に虐待された動物なども含まれているのかとの質疑があり、事務局より、動物等火葬業務委託は令和元年度10月1日からの新規の事業であり、請負業者は川口市に所在している環境さいたま株式会社である。1頭当たりの金額は、令和2年度予算額で税込み4,015円であり、880頭の委託料を見込んでいる。動物の種類については、ほとんどが猫、犬などの小動物であり、死因としては交通事故等によるものがほとんどである。現在の委託状況については、先日、現地確認を実施しており、火葬場をはじめ、納骨堂、供養塔などの付帯設備も万全であることを確認しているとの説明がありました。

他の委員より、動物等火葬業務委託を開始するにあたり、もともとあった動物焼却炉を廃止して業務委託に切り替えた経緯について説明を求める質疑があり、事務局より、当組合が保有している動物焼却炉は基幹的設備改良工事により排ガス処理設備の仕様変更となったため、9月までしか使用することができなくなり、10月からは外部委託で処理することになったとの説明がありました。

他の委員より、薬品費について、令和元年度の補正予算でも増額となっているが、令和2年度予算においても同じ理由で増額になるのかとの質疑があり、事務局より、令和2年度予算の薬品費については、基幹的設備改良工事による排ガス処理設備の仕様変更に伴い、消石灰は特号というものから高反応性消石灰というものに代わるため、値段も税抜き1キログラム当たり34

円から48円に増額している。令和元年度補正予算の薬品の増額分についても、令和2年度当初予算において同様に予算計上しているとの説明がありました。

また、委員より、焼却灰等埋立処分委託料と焼却灰等資源化委託料が令和元年度と比べ増額になっているが、焼却灰を減らしていくことについて組合ではどのような考えを持っているのかとの質疑があり、事務局より、焼却灰については排ガス中のばいじんをセメントで固めた固化灰と、炉の下から排出される不燃物残渣の2種類がある。現在、主に不燃物残渣のほうが増えている状況にあるが、この要因としては、ごみの焼却に使用している砂に不純物が混入され、砂の量が増え、結果的に砂を不燃物残渣として搬出せざるを得ない状況になっている。令和2年度は新たに砂を購入し、砂を入れ替えることにより対処したいとの説明がありました。

また、委員より、小型家電処分委託について、売却していたものが逆有償になり歳出が増えている状況にあるが、これに対する対策は考えているのかとの質疑があり、事務局より、小型家電については平成26年度から平成30年度までは売り払いできていたが、近年の鉄、スクラップ市況の悪化により逆有償となった。令和2年度においても逆有償ということで予算を見込んでいる。対策については、当組合ではありとあらゆる小型家電を回収しているが、将来的に売り払いできる高品位なものをピックアップすることにより、逆有償から有償への脱却へつなげると考える。しかし、人件費や作業時間などがかかるため、調査研究が必要になるとの説明がありました。

また、委員より、もえるごみの中に小型家電が入っていると焼却されてしまい、焼

却灰が増える。具体的な検討を進めていただき、リサイクルのところでしっかりと形をつくっていただきたいとの要望がありました。

次に、第3目し尿処理費について、委員より、薬品費が増額しているが、これは消費税の増額が影響しているのか、それとも薬品自体が値上がりしているのかとの質疑があり、事務局より、薬品費の増額は消費税の増額によるものもあるが、基幹的設備改良工事に伴い新しい薬品に切り替えるため、その薬品の金額が増額していることが主な要因であるとの説明がありました。

次に、第5目リサイクルフラワーセンター運営費について、委員より、リサイクルフラワーセンターは障がい者の自立支援というところで大変すばらしい仕組みだと考えるが、今回、埼玉県 lowest賃金が改定により上昇しているが、障がい者の月の報酬は幾らなのかとの質疑があり、事務局より、障がい者の賃金については埼玉県の最低賃金が10月から改定され、1時間当たり898円から926円になっている。障がい者の就労時間は朝9時半から昼の12時半までとなり、3時間分の金額となるとの説明がありました。

また、委員より、高齢者は同じ時間帯に働いているのかとの質疑があり、事務局より、朝8時半から夕方5時までの7.5時間となるとの説明がありました。

他の委員より、リサイクルフラワーセンターの就労人数について質疑があり、事務局より、リサイクルフラワーセンターの就労人数は受託事業者の人数が所長1名、副所長1名、社員8名の計10名である。また、障がい者と支援員については、蕨市が障がい者8名、支援員2名、戸田市が障がい者12名、支援員3名の計25名、合計

で35名の就労人数であるとの説明がありました。

以上で質疑を終結し、討論、採決に入り、討論はなく、採決の結果、全員異議なく、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上をもちまして、業務常任委員会に付託を受けました案件についての報告を終わります。

○石川清明議長 以上をもって、各委員長の報告は終わりました。

◎休憩の宣告

○石川清明議長 委員長報告に対する質疑通告受け付けのため、暫時休憩いたします。

午前10時17分休憩

午前10時17分再開

◎再開の宣告

○石川清明議長 休憩前に引き続き、会議を開きます。

◎委員長報告に対する質疑

○石川清明議長 これより各委員長報告に対する質疑に入ります。

ただいまのところ、質疑の通告はありません。

よって、質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終結いたします。

◎休憩の宣告

○石川清明議長 討論通告受け付けのため、暫時休憩いたします。

午前10時18分休憩

午前10時18分再開

◎再開の宣告

○石川清明議長 休憩前に引き続き、会議を開きます。

◎討論、採決

○議案第2号から議案第6号の採決—可決

○石川清明議長 これより討論、採決に入ります。

議案第2号「蕨戸田衛生センター組合議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」について、討論の通告がありませんので、討論を終結いたします。

これより採決に入ります。

本案に関する委員長の報告は、原案可決であります。

本案は、起立により採決いたします。

本案を、委員長の報告のとおり決定することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○石川清明議長 起立多数と認めます。

よって、本案は委員長の報告のとおり原案を可決することに決定いたしました。

次に、議案第3号「蕨戸田衛生センター組合管理者及び副管理者の報酬等支給条例の一部を改正する条例」について、討論の通告がありませんので、討論を終結いたします。

これより採決に入ります。

本案に関する委員長の報告は、原案可決であります。

本案を、委員長の報告のとおり決定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○石川清明議長 ご異議なしと認めます。

よって、本案は委員長の報告のとおり原案を可決することに決定いたしました。

次に、議案第4号「職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」について、討論の通告がありませんので、討論を終結いたします。

これより採決に入ります。

本案に関する委員長の報告は、原案可決であります。

本案を、委員長の報告のとおり決定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○石川清明議長 ご異議なしと認めます。

よって、本案は委員長の報告のとおり原案を可決することに決定いたしました。

次に、議案第5号「令和元年度蕨戸田衛生センター組合会計補正予算（第2号）」及び議案第6号「令和2年度蕨戸田衛生センター組合会計予算」について、討論の通告がありませんので、討論を終結いたします。

これより採決に入ります。

本案2件に関する各委員長の報告は、原案可決であります。

本案2件を、各委員長の報告のとおり決定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○石川清明議長 ご異議なしと認めます。

よって、本案2件は各委員長の報告のとおり原案を可決することに決定いたしました。

◎閉会中の継続審査事項の委員会付託

○石川清明議長 次に、議会運営委員会委員長から会議規則第104条の規定により、お手元に配付の閉会中継続審査事項表のとおり、閉会中の継続審査の申し出があります。

お諮りいたします。

本件は申し出のとおり、閉会中の継続審査に付することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○石川清明議長 ご異議なしと認めます。

よって、本件は申し出のとおり、閉会中の継続審査に付することに決定いたしました。

◎閉会の宣告

○石川清明議長 以上をもちまして、本定例会の日程は全部終了いたしました。

これをもって、令和2年第1回蕨戸田衛生センター組合議会定例会を閉会いたします。

ありがとうございました。

午前10時23分閉会

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

議 長 石 川 清 明

副 議 長 小 林 利 規

署名議員 本 田 てい子

署名議員 遠 藤 英 樹